

令和4年度(1)

企画展 人のすがた、人の思いー收藏品にみる人々の物語ー

会 期：令和4年4月5日(火)～5月29日(日)

※4/25(月)は特別イベント開催

開館時間：10時～17時

開催日数：49日間 ※特別イベント等含む

入場者数：5,377人(1日平均約109.7人) ※イベント含む

観 覧 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成
建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

(デザイン：伊村沙英子〔能登印刷株式会社〕)

配付資料：「作品リスト」

担 当：高橋裕次(副館長兼学芸部長)、

四宮美帆子(副主任学芸員)

展示趣旨：

日々の暮らしにおける人々のすがたを表現した作品をとおして、
宮廷、行事、生業、行楽などさまざまな活動の場がどのように
あらわされているかを探りました。また人の思いを反映し、次の世
代に受け継がれた和歌やデザイン、造形、規則などのありかたを示
す資料をとりあげました。《鳥毛立女図》(模本)をはじめ、重要文化
財《賀茂競馬・宇治茶摘図屏風》久住守景筆、《雑画帖》英一蝶筆、《上
野観桜図・隅田川納涼図屏風》宮川長龜筆、《卷子本古今和歌集卷
第十八断簡》藤原定実筆、《不動明王坐像》円空作、《抜荷禁制札》な
どをご紹介します。コロナの影響によって人々の動きが大きく
制限されるなかで、改めて人と人の交流の大切さを見直しました。

展示構成：

1. 女性のすがた
2. 思いに向き合う
3. 名所に集う
4. 民衆へのまなざし



チラシ



展示風景

関連イベント

①ギャラリー・トーク

日 時：4月14日(木)、4月28日(木)、
5月12日(木)、5月19日(木)各14時～15時
担 当：高橋裕次(副館長兼学芸部長)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：20人(4/14)、35人(4/28)、30人(5/12)、
33人(5/19)



① ギャラリー・トーク

②チャリティーコンサート for ウクライナ

ウクライナの歌姫ナターシャ・グジー
～「希望の大地」へ平和の歌声よ響け～
日 時：4月25日(月)14時開演
出 演：ナターシャ・グジー
場 所：大倉集古館 2階展示室
料 金：4,500円
参加人数：80人
主 催：ナターシャ・グジー チャリティーコンサート
for ウクライナ実行委員会、
一般社団法人 伝統文化交流会
協 力：ベトラーフ・ピストロ・ジロー



② チャリティーコンサート for ウクライナ

③オークラウロ10周年・スペシャルトーク

日 時：5月4日(水・祝)15時15分開演
講 師：田中知佐子(主任学芸員)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
参加人数：45人

作品リスト

No	指定	作品名	作者等	時代	員数	備考
女性のすがた						
1		狂言面 乙		江戸時代・17世紀	1面	
2		木蘭詩図衝立		中華民国36年(1947)	1基	
3		鳥毛立女図(模本)		大正・20世紀 原本:奈良時代・8世紀	3幅(5幅のうち)	5/3～場面替え
4		能小道具 羽団扇 箱書「山鳥羽團」		江戸時代・18世紀	1本	
5		卷子本古今和歌集切	藤原定実(生没年未詳)筆	平安時代・12世紀	1幅	
6		六歌仙図	小川破笠(1663～1747)筆	江戸時代・享保19年(1734)	1幅	個人蔵
7		道成寺図	酒井道一(1845～1913)筆	江戸時代～明治・19世紀	1幅	
8		友禅ひいながた(複製)	友尽斎清親(生没年未詳)著	原本:貞享5年(1688)刊	3冊	
9		日本女装 中篇(徳川時代)	神坂雪佳(1866～1942)編	明治39年(1906)	5冊	
思いに向き合う						
10		異国船より抜荷を買取候 その他禁制札		江戸時代・正徳4年(1714)	1面	
11		クリシュナ・ルクミニ・ サティヤハーマー		インド・12世紀	3躯	山内コレクション
12		不動明王坐像	円空(1632～95)作	江戸時代・17世紀	1躯	
13		子島荒神像		室町時代・15～16世紀	1面	
14		酒飯論絵巻断簡		桃山～江戸時代・17世紀	2幅	
15		探幽縮図(和漢古画帖)	狩野探幽(1602～74)筆	江戸時代・17世紀	1帖	5/3～場面替え
16		都風俗化粧伝	佐山半七丸(生没年未詳)著 速水春暁齋(1767～1823)画	江戸時代・嘉永4年(1851)	3冊	個人蔵
17		金々先生栄花夢(複製)	恋川春町(1744～89)著・画	原本:安永4年(1775)刊	2冊	
18		宮楽図屏風		桃山時代・16～17世紀	6曲1隻(6曲1双のうち)	5/3～左右隻場面替え
名所に集う						
19		兩岸一覽	鶴岡蘆水(生没年未詳)作	江戸時代・天明元年(1781)	2巻	
20		天の橋立・和歌浦図屏風		江戸時代・17世紀	6曲1隻(6曲1双のうち)	5/3～左右隻場面替え
21		上野観桜図・隅田川納涼図屏風	宮川長亀(生没年未詳)筆	江戸時代・18世紀	6曲1双	
22		諸国道中金の草鞋 初編	十返舎一九(1765～1831)著 喜多川月麿(生没年未詳)画	江戸時代・天保5年(1834)	1冊	5/3～場面替え
23		江戸名所図会	斎藤長秋(1737～99)・ 莞斎(生没年未詳)・ 月岑(1804～78)編、 長谷川雪旦(1778～1843)・ 雪堤(1813～82)画	江戸時代・天保5、7年(1834、1836)	9冊	5/3～一部場面替え
24		江戸名所図会挿絵草稿	長谷川雪旦(1778～1843)筆	江戸時代・19世紀	1巻	5/3～場面替え
民衆へのまなざし						
25		人物禽獣意匠衝立 雑画帖「太神楽図」 雑画帖「大森彦七図」		明治・19世紀	1基	
26		雑画帖「紫式部図」 雑画帖「東坡笠履図」 雑画帖「寒山拾得図」 雑画帖「布袋図」	英一蝶(1652～1724)筆	江戸時代・17世紀	6枚 (36図のうち)	
27		職人尽図		室町～桃山時代・16～17世紀	1帖	5/3～場面替え
28		賀茂競馬・宇治茶摘図屏風	久隅守景(生没年未詳)筆	江戸時代・17世紀	6曲1双	

出品数：28件

令和4年度(2)

特別展 沖縄本土復帰50周年記念 芭蕉布-人間国宝・平良敏子と喜如嘉の手仕事-

会 期：令和4年6月7日(火)～7月31日(日)

※6/6(月)は内覧会開催

開館時間：10時～17時

開催日数：49日間 ※内覧会含む

入場者数：13,268人(1日平均約270.8人) ※内覧会含む

観 覧 料：一般1,300円、大学・高校生1,000円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

特別協力：芭蕉布織物工房、喜如嘉の芭蕉布保存会、公益財団法人
日本伝承染織振興会

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成
建設株式会社

企 画：株式会社オフィスイーヨー

展示デザイン・アートディレクション：カレプラン LLC.

企画協力：株式会社東京画廊

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

(デザイン：太田よしの[カレプラン LLC.])

配付資料：「作品リスト」、「喜如嘉の芭蕉布が生まれるまで」

図 録：本文 111頁 (22.5×15.0cm)

発行元 株式会社オフィスイーヨー

構成・編集 太田はるの[カレプラン LLC.]

編集・取材・テキスト 林由利子

編集協力 高橋裕次、佐々木智子[大倉集古館]

寄稿 近藤都代子、須藤玲子

写真 比嘉厚[つば写真館]、升谷玲子

印刷 株式会社アイワード

担 当：佐々木智子(学芸員)、高橋裕次(副館長兼学芸部長)

展示趣旨：

芭蕉布とは亜熱帯を中心に分布する植物・芭蕉からとれる天然繊維を原料とした、沖縄を代表する織物です。第二次世界大戦後に消滅しかけた伝統技法を復興させ、現代へ繋いだ女性こそが平良敏子です。その功績により、2000年には重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。本展では沖縄本土復帰50周年に寄せ、喜如嘉(キジョカ)に工房を設け、芭蕉布と共に生きる平良敏子の情熱と手仕事をご紹介いたしました。民藝運動の主唱者・柳宗悦に「今時こんな美しい布はめったにないのです。いつ見てもこの布ばかりは本物です」と言わしめた手織物の数々を約70点にわたり公開いたしました。芭蕉の糸が織りなす透けるような風合い、古くから伝わる琉球藍や車輪梅の力強い色彩、バラエティに富んだ紺柄の世界をはじめとする芭蕉布の手わざの魅力を様々な角度からお楽しみいただきました。

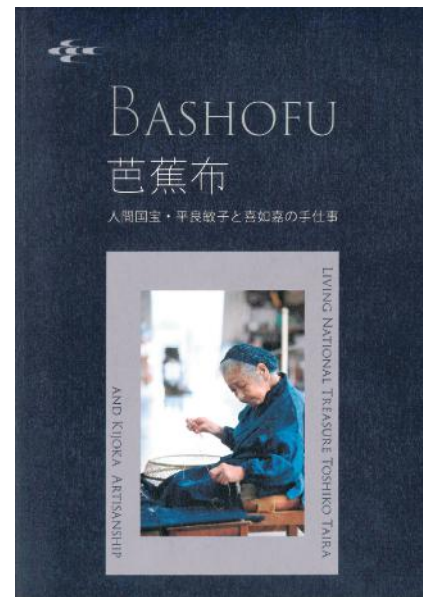
展示構成：

第1章：喜如嘉の挑戦

第2章：喜如嘉の紺



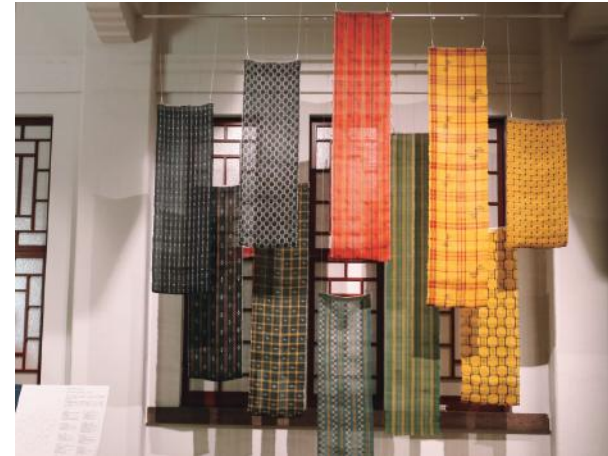
チラシ



図録



公式ツイッター



展示風景



関連イベント

①ギャラリー・トーク

日時：令和4年6月7日(火)、7月6日(水)各日11時からと14時から
講師：平良美恵子(喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長)
場所：大倉集古館 展示室
料金：無料(要入館券)
参加人数：40人(6/7午前)、43人(6/7午後)、38人(7/6午前)、28人(7/6午後)



① ギャラリー・トーク

②DVD 特別上映会「芭蕉布—平良敏子のわざ—」

日時：令和4年6月21日(火)、6月22日(水)10時30分～16時
場所：大倉集古館 地下1階ホール
料金：無料(要入館券)

③舞踊公演 琉球舞踊の夕べ

日時：令和4年6月28日(火)19時開演
出演：(琉球舞踊)赤嶺奈津子・赤嶺真希(八幡流 餘音の会)、(地謡(唄 三線))喜納史一・細川拓実、(案内役)仲里綾香
場所：大倉集古館 2階展示室
料金：4,000円(観覧会料金を含む)
参加人数：74人



③ 舞踊公演 琉球舞踊の夕べ

④芭蕉布系づくり 苧績(ウーウ)み体験

日時：7月7日(木)10時30分からと14時から
講師：平良美恵子(喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長)、平良菜緒
場所：大倉集古館 地下1階ホール
料金：8,000円(材料費込み)※別途、当日観覧券要
参加人数：各回12人



④ 芭蕉布系づくり

⑤The Okura Tokyo

ホテルランチタイム・スペシャル トークイベント

日時：7月5日(火)11時～13時30分
出演：(トーク)平良美恵子(喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長)、(案内役)山本豊津(東京画廊代表)
場所：The Okura Tokyo オークラ プレステージタワー 2階 宴会場「オーチャード」
参加人数：149人
主催：The Okura Tokyo
協力：ハースト婦人画報社『美しいキモノ』

作品リスト

No	種別	作品名	作者等	時代	所蔵	展示期間
喜如嘉の挑戦(1階展示室)						
1	煮綴芭蕉布 裂地	赤地 小鳥(トウイグワ) 綾中(アヤナーカ)		平成	芭蕉布織物工房	
2	煮綴芭蕉布 裂地	黄地 小鳥(トウイグワ) 引下(ヒキサギー) 綾中(アヤナーカ)		平成11年(1999)	芭蕉布織物工房	
3	煮綴芭蕉布 裂地	黄地 トーニー 番匠(バンジョー)		平成	芭蕉布織物工房	
4	煮綴芭蕉布 裂地	黄地 八十八(ハチジョーハチ) クワサー 花合(ハナアーン)		平成	芭蕉布織物工房	
5	煮綴芭蕉布 裂地	九年母地(クニブシ) ムティー 縞		平成	芭蕉布織物工房	
6	煮綴芭蕉布 裂地	青地 サバキバー 市松 綾中(アヤナーカ)		平成	芭蕉布織物工房	
7	煮綴芭蕉布 裂地	九年母地(クニブシ) 銭玉(ジンダマー) ムティー 格子		平成	芭蕉布織物工房	
8	煮綴芭蕉布 裂地	紺地(クンジ) 花合(ハナアーン) 綾中(アヤナーカ)		平成5年(1993)	芭蕉布織物工房	
9	煮綴芭蕉布 裂地	紺地(クンジ) 変わり竹の節(ダキンフシー)		平成	芭蕉布織物工房	
10	煮綴芭蕉布 裂地	紺地(クンジ) 変わり八十八(ハチジョーハチ)		平成	芭蕉布織物工房	
11	煮綴芭蕉布 琉装着物	黄地 小鳥(トウイグワ) 引下(ヒキサギー) 綾中(アヤナーカ)		平成11年(1999)	公益財団法人日本伝承染織振興会	前期展示 6/7～7/3
12	煮綴芭蕉布 琉装着物	赤地 縞		平成4年(1992)	芭蕉布織物工房	後期展示 7/5～7/31
13	芭蕉布 着物	赤染(アカズミ) コーザー		平成12年(2000)	芭蕉布織物工房	
14	煮綴芭蕉布 琉装着物	赤地 花織(ハナウイ)		平成25年(2013)	公益財団法人日本伝承染織振興会	後期展示 7/5～7/31
15	煮綴芭蕉布 帯地	黄地 花もじり織 格子		平成	芭蕉布織物工房	前期展示 6/7～7/3
16	煮綴芭蕉布 帯地	黄地 縞織(地機織)		平成30年(2018)	芭蕉布織物工房	後期展示 7/5～7/31
17	煮綴芭蕉布 琉装着物	黄地 花織(ハナウイ)		平成25年(2013)	喜如嘉の芭蕉布保存会	前期展示 6/7～7/3
18	煮綴芭蕉布 着物	黄地 ヤシラミー 碁盤(グバン)		平成28年(2016)	芭蕉布織物工房	後期展示 7/5～7/31
19	煮綴芭蕉布 琉装着物	茶地 ヤシラミー 花織(ハナウイ) 格子		平成18年(2006)	喜如嘉の芭蕉布保存会	
	資料	『芭蕉布物語』(初版)／「直筆原稿」 榕樹書林『芭蕉布物語』(新版)	柳宗悦	初版:昭和18年(1943) 新版:平成28年(2016)	芭蕉布織物工房(初版) 個人蔵(直筆原稿)	
	資料	『和漢三才図絵』27巻		正徳2年(1712)	芭蕉布織物工房	
20	煮綴芭蕉布 着物	九年母地(クニブシ) ヤシラミー 碁盤(グバン)		平成	個人蔵	
21	煮綴芭蕉布 琉装着物	ムティー 綾 番匠(バンジョー)くずし		平成8年(1996)	公益財団法人日本伝承染織振興会	前期展示 6/7～7/3
22	煮綴芭蕉布 琉装着物	九年母地(クニブシ) 花織(ハナウイ)		令和2年(2020)	大宜味村	後期展示 7/5～7/31
23	煮綴芭蕉布 着物	紺地(クンジ) 銭玉(ジンダマー) 花結(ハナユイ)		平成	芭蕉布織物工房	
24	芭蕉布 着物	藍型(エーガタ)	藍型 藤村玲子作	平成	芭蕉布織物工房	
25	煮綴芭蕉布 着物	紺地(クンジ) 二玉(タタマ) 環掛(クワンカキー)		平成20年(2008)	公益財団法人日本伝承染織振興会	前期展示 6/7～7/3
26	煮綴芭蕉布 琉装着物	紺地(クンジ) トーニー 引下(ヒキサギー) ヒーマー		平成19年(2007)	喜如嘉の芭蕉布保存会	後期展示 7/5～7/31
27	芭蕉布 着物	格子柄		昭和	芭蕉布織物工房	前期展示 6/7～7/3
28	芭蕉布 帯地	無地 縞織(地機織)		平成30年(2018)	芭蕉布織物工房	後期展示 7/5～7/31
29	芭蕉布 琉装着物	型付(カタチキ) 舞菖蒲	紅型 城間びんがた工房作	令和2年(2020)	大宜味村	前期展示 6/7～7/3
30	芭蕉布 琉装着物	藍 碁盤(グバン)		昭和	芭蕉布織物工房	後期展示 7/5～7/31
31	芭蕉布 着物	三羽(ミーファー) 方筋(カタシジ)		昭和	芭蕉布織物工房	前期展示 6/7～7/3
32	芭蕉布 着物	型付(カタチキ) 菖蒲に束熨斗	紅型 玉那覇有公作	平成	個人蔵	後期展示 7/5～7/31
33	芭蕉布 琉装着物	環掛(クワンカキー) 縞段変わり		令和2年(2020)	芭蕉布織物工房	
34	煮綴芭蕉布 胴衣 袴	黄地 胴衣(ドウジン) 無地 袴(カカン)		平成23～24年(2011～2012)	芭蕉布織物工房	
35	煮綴芭蕉布 胴衣 袴	ハベル付 藍方筋(カタシジ) 胴衣(ドウジン) 茶地 袴(カカン)		平成24年(2012年)	喜如嘉の芭蕉布保存会	

作品リスト

No.	種別	作品名	時代	所蔵
喜如嘉の緋(2階展示室)				
36	芭蕉布 着物	銭玉(ジンダマー) 番匠(バンジョー)	昭和50年(1975)	芭蕉布織物工房
37	芭蕉布 着物	クワイヤー 番匠(バンジョー)	昭和	芭蕉布織物工房
	愛用品	平良敏子氏の愛用品 ・日本民藝協会『工藝』100号・シーグ(ウンゾーキ内)／布抜きムシ／尺串 ・緋のデザイン案とノート	『工藝』100号:昭和14年(1939)	芭蕉布織物工房
	道具 繊維・糸	道具類: 苧(ウー)チンギバタ／整経台(ハン) シーグ、エービ、ウンゾーキ、杵、管巻き串、経管(ハンクダ)／緯管(ヌキクダ)、 ビジキ、サバキ、伸子(シン)、茶碗 繊維・糸:(右から)キヤギ、ナハグー、ナハウー、ウバサガラ(原皮) (平置き)チング、芭蕉糸(ウンゾーキ内)		芭蕉布織物工房
38	芭蕉布 着尺	変わり三段組(ミダングミー)	平成	芭蕉布織物工房
39	芭蕉布 裂地	小鳥(トウイグワー)	平成	芭蕉布織物工房
40	芭蕉布 裂地	小鳥(トウイグワー)と琴の馬	平成	芭蕉布織物工房
41	芭蕉布 裂地	小鳥(トウイグワー)と柳	平成	芭蕉布織物工房
42	芭蕉布 裂地	銭玉(ジンダマー) 花結(ハナユイ)	平成	芭蕉布織物工房
43	芭蕉布 裂地	経(カシ) 銭玉(ジンダマー)	平成	芭蕉布織物工房
44	芭蕉布 裂地	藍コーザー 蘇鉄の葉(ステイチンファー)	平成	芭蕉布織物工房
45	芭蕉布 裂地	四玉(ユタマー) クワサー 番匠(バンジョー)	平成	芭蕉布織物工房
46	芭蕉布 裂地	十玉(トウタマー) クワサー 番匠(バンジョー)	平成	芭蕉布織物工房
47	芭蕉布 裂地	藍コーザー 十玉(トウタマー) クワサー 番匠(バンジョー)	平成	芭蕉布織物工房
48	芭蕉布 裂地	変わり八十八(ハチジョーハチ)	平成	芭蕉布織物工房
49	芭蕉布 裂地	藍方筋(カタシジ) ヤシラミー 八十八(ハチジョーハチ)	平成	芭蕉布織物工房
50	芭蕉布 裂地	ゴーマーイー	平成	芭蕉布織物工房
51	芭蕉布 裂地	ケーキ柄	平成	芭蕉布織物工房
52	芭蕉布 裂地	ヌキハンケーキ柄	平成	芭蕉布織物工房
53	芭蕉布 裂地	網代(アジロ) くずし	平成	芭蕉布織物工房
54	芭蕉布 裂地	八丈(ハチジョー)	平成	芭蕉布織物工房
55	芭蕉布 裂地	変わり八丈(ハチジョー)	平成	芭蕉布織物工房
56	芭蕉布 裂地	アキファテ柄	平成	芭蕉布織物工房
57	芭蕉布 裂地	十玉(トウタマー) 十字(ジュウジ)	平成	芭蕉布織物工房
58	芭蕉布 裂地	色変わり 糞の目(サイノメ)	平成	芭蕉布織物工房
59	芭蕉布 裂地	花合(ハナアーシ) 眉引(マユビチー)	平成	芭蕉布織物工房
60	芭蕉布 裂地	ヌキハシ トーニー 引下(ヒキサギー)	平成	芭蕉布織物工房
61	芭蕉布 裂地	引下(ヒキサギー) 綾中(アヤナーカ)	平成	芭蕉布織物工房
62	芭蕉布 裂地	環掛(クワンカキー) 引下(ヒキサギー)	平成	芭蕉布織物工房
63	芭蕉布 帯地	藍コーザー アササ	平成	芭蕉布織物工房
64	芭蕉布 着物	一玉(ツタマー) 小鳥(トウイグワー)	昭和58年(1983)	芭蕉布織物工房
65	芭蕉布 着物	ジンコーピーマー	平成	喜如嘉の芭蕉布保存会
66	芭蕉布 瑠装着物	藍 クワサー アキファテ柄	平成27年(2015)	喜如嘉の芭蕉布保存会
67	芭蕉布 着物	波型(ナミガター)	不明	芭蕉布織物工房
68	芭蕉布 着物	ムチリーくずし	昭和	芭蕉布織物工房
69	芭蕉布 着物	クワイヤー 花合(ハナアーシ)	昭和	芭蕉布織物工房
70	芭蕉布 着物	八十八(ハチジョーハチ) クワサー 花合(ハナアーシ)	平成	芭蕉布織物工房
71	芭蕉布 着物	藍 環掛(クワンカキー)	昭和	喜如嘉の芭蕉布保存会
72	芭蕉布 着物	藍コーザー 引下(ヒキサギー) 眉引(マユビチー)	平成	個人蔵
73	芭蕉布 着物	藍コーザー 引下(ヒキサギー)	昭和	芭蕉布織物工房

出品数：73件

令和4年度(3)

企画展 合縁奇縁—大倉集古館の多彩な工芸品—

会 期：令和4年8月16日(火)～10月23日(日)

※10月11日(火・休館)は特別ギャラリー・トーク

開館時間：10時～17時

開催日数：61日間 ※特別イベント含む

入場者数：5,596人(1日平均約91.7人) ※イベント含む

観 覧 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

(デザイン：石島章輝〔イシジマデザイン制作室〕)

リーフレット：A3、2つ折り

執筆：四宮美帆子(副主任学芸員)

デザイン・印刷：株式会社アイワード

配付資料：「作品リスト」

担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)

展示趣旨：

大倉集古館は、明治35年(1902)に大倉喜八郎が自邸の一部を美術館として公開した大倉美術館を前身とし、大正6年(1917)に財団法人化した、現存最古の私立美術館であり、日本で最初の財団法人の私立美術館です。

喜八郎が集めたものは日本・東洋の仏教美術、絵画、工芸品、考古遺物、典籍など広範に及びましたが、大正12年(1923)の関東大震災により所蔵品の多くが災禍に見舞われます。その後、嫡子・喜七郎からの寄贈品を加え、現在の大倉集古館の所蔵品が成り立っています。

本展では、大倉財閥ゆかりの刀剣と中国の陶俑を中心とし、中国の染織品、タイの美術品など、「他人の集め得ない物を大たばに、大づかみに集めた」大倉コレクションのうち、関東大震災の爪痕を残す作品も含め、長く公開されなかった貴重な工芸品を、東京国立博物館の優品とともに展覧いたしました。

令和4年(2022)の本年は、大倉美術館が公開されてから120周年、財団法人大倉集古館が設立されてから105周年の節目の年となりました。大倉集古館ならではの作品を通して、明治から昭和にかけての美術品収集の軌跡をたどりました。

展示構成：

第一章 大倉美術館・大倉集古館の歴史

第二章 世界一と謳われた幻の漆工コレクション

第三章 大倉財閥ゆかりの刀剣

第四章 日本における最初期の陶俑蒐集

第五章 清朝の染織

第六章 喜八郎と喜七郎、それぞれとタイの美術



チラシ



リーフレット



展示風景

関連イベント

①講演会「唐三彩の魅力と鑑賞の歴史について」

日 時：8月27日(土)14時～15時
 講 師：三笠景子(東京国立博物館主任研究員)
 場 所：大倉集古館 地下1階ホール
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：26人

②講演会「明治時代の刀剣界」

日 時：9月3日(土)14時～15時
 講 師：内藤直子(大阪歴史博物館学芸第二係長)
 場 所：大倉集古館 地下1階ホール
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：24人

③当館学芸員によるギャラリー・トーク

日 時：8月30日(火)、9月13日(火)、
 10月4日(火)各14時～15時
 担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)
 場 所：大倉集古館 展示室
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：19人(8/30)、18人(9/13)、31人(10/4)

④特別ギャラリー・トーク

日 時：10月11日(火)
 担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)
 場 所：大倉集古館 展示室
 料 金：1,500円
 参加人数：10人

⑤ARK Hills Music Week 2022 オークラウ口 with ギター

～ Autumn Night Concert ～
 日 時：9月30日(金)18:30開演
 出 演：小湊昭尚(オークラウ口)
 愛川聡(ギター)
 担 当：田中知佐子(主任学芸員)
 場 所：大倉集古館 地下1階ロビー
 料 金：3,000円(観覧会料金を含む)
 参加人数：15人



①講演会「唐三彩の魅力と鑑賞の歴史について」



②講演会「明治時代の刀剣界」



⑤ ARK Hills Music Week 2022

作品リスト

No	指定・作品名	作者等	時代	所蔵・備考
第1章 -1 大倉集古館・大倉美術館の歴史(大倉美術館から大倉集古館へ)				
1	『新撰東京名所図会』第37編(臨時増刊『風俗画報』)263号、赤坂区之部 巻之一		明治36年(1903)1月25日	
2	大倉邸之図(含大倉美術館)	山本昇雲(松谷)(1870~1965)画	明治36年(1903)	
3	大倉邸美術館内之図	山本昇雲(松谷)(1870~1965)画	明治36年(1903)	
4	「博物館」書額	徳川慶喜(1837~1913)筆	明治・19~20世紀	
第1章 -2 大倉集古館・大倉美術館の歴史(関東大震災から伊東忠太設計の大倉集古館)				
5	大倉集古館 六角堂模型		大正12年~昭和2年(1923~1927)頃	
6	財団法人大倉集古館 建築記念写真	大倉土木株式会社(現:大成建設)撮影	昭和2年(1927)	
7	大倉集古館建築設計図(縮尺百分の一)		大正12年~昭和2年(1923~1927)頃	
8	大倉集古館イメージパース	伊東忠太(1867~1954)画	昭和11年(1936)頃	
第1章 -3 大倉集古館・大倉美術館の歴史(ホテルオークラ建設から現在へ)				
9	大倉集古館イメージパース	大成建設株式会社制作	昭和34~37年(1959~1962)頃	
10	大倉集古館裏庭イメージパース	大成建設株式会社制作	昭和34~37年(1959~1962)頃	
11	大倉集古館裏庭イメージパース	大成建設株式会社制作	昭和34~37年(1959~1962)頃	
12	大倉集古館裏庭イメージパース	大成建設株式会社制作	昭和34~37年(1959~1962)頃	
13	大倉集古館事務所イメージパース		昭和34~37年(1959~1962)頃	
第2章 世界一と謳われた漆工コレクション				
14	重美 唐草文螺鈿手箱		朝鮮・高麗時代・13世紀	
15	楼閣人物図螺鈿棚		中国 明時代・16世紀	
16	朱地麒麟文螺鈿卓		中国 清時代または琉球・18世紀	
17	牡丹梅菊文堆朱輪花盆		中国 明時代・16世紀	
第3章 大倉財閥ゆかりの刀剣				
18	太刀 銘 月山貞一造	月山貞一(初代)(1836~1918)作	明治35年(1902)	小川又次寄贈
19	剣 銘 明治三十九年十月吉日兼先十二代孫兼次謹造之/祝大倉君高齢	日置兼次(1840~1910)作	明治39年(1906)	
20	一行書「静坐庭軒寄興長」	有栖川宮熾仁親王(1835~95)筆	明治11年(1878)	
21	短刀 銘 舞子有栖川宮於御庭前正次作/明治四十三年	桜井正次(1868~1950)作	明治43年(1910)	有栖川宮寄贈
22	刀 銘 正次/明治廿九年為目賀田種太郎君	桜井正次(1868~1950)作	明治29年(1896)	
23	太刀 銘 正次	桜井正次(1868~1950)作	明治・19世紀	
24	刀 銘 昭秀以本溪湖海綿鉄作之/昭和九年五月吉日	栗原昭秀(1879~1954)作	昭和9年(1934)	
25	刀 銘 以本溪湖高純鉄果(花押)/皇紀二千六百参季十月吉日	柴田果(1884~1953)作	昭和18年(1943)	
26	本溪湖の鉄鉱石		昭和20年(1945)頃か	東京経済大学所蔵
27	大倉男爵満蒙視察記念写真帖	奉天大倉組編	大正14年(1925)4月5日	
28	商辦本溪湖煤鐵有限公司 創立十週年記念寫真帖	商辦本溪湖煤鐵有限公司編	大正9年(1920)5月22日	
29	煤鐵公司創業二十周年記念写真帖	本溪湖煤鐵公司編	昭和10年(1935)	
30	大倉喜八郎遺髪碑銘文(レプリカ)		昭和9年(1934)	
31	大倉男爵御來溪記念寫真帖(パネル)	本溪湖煤鐵公司編	昭和13年(1938)6月18日	
32	赴満蒙所感	書:大倉喜七郎(1882~1913)筆 下絵:横山大観(1868~1958)筆	昭和6年(1931)	
33	菊紋章銀製花瓶		昭和10年(1935)頃か	閑院宮下賜

No	指定・作品名	作者等	時代	所蔵・備考
第4章 日本における最初期の陶俑蒐集				
34	加彩女子(首部)		中国 前漢・前2世紀	
35	白釉女子		中国 唐時代・7~8世紀	
36	加彩女子		中国 唐時代・7~8世紀	
37	加彩女子		中国 唐時代・7~8世紀	
38	加彩女子		中国 唐時代・7~8世紀	
39	加彩女子(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
40	加彩女子(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
41	加彩胡服女子		中国 唐時代・7~8世紀	
42	加彩女子		中国 唐時代・7~8世紀	
43	鳥毛立女図(模本)(パネル)		大正20世紀、原本:奈良時代・8世紀	
44	三彩女子		中国 唐時代・8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
45	三彩梅花文壺		中国 唐時代・8世紀	東京国立博物館所蔵 広田松繁氏旧蔵
46	加彩楽人		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
47	加彩楽人		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
48	加彩女子		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
49	加彩楽人		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
50	加彩楽人		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
51	女楽の人々(パネル)	安田鞞彦(1884~1978)筆	昭和40年(1965)	原本:個人蔵
52	加彩女子		中国 唐時代・7世紀	東京国立博物館所蔵 広田松繁氏旧蔵
53	加彩着坐女子		中国 唐時代・7~8世紀	
55	加彩豚		中国 唐時代・7~8世紀	
54	褐釉豚		中国 唐時代・8世紀	東京国立博物館所蔵
56	加彩羊		中国 唐時代・7~8世紀	
57	加彩羊		中国 唐時代・7~8世紀	
58	加彩羊		中国 唐時代・7~8世紀	
59	加彩羊(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
60	加彩犬		中国 唐時代・7~8世紀	
61	加彩犬(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
62	加彩犬(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
63	加彩鶏(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
64	黄釉牛		中国 唐時代・8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
65	加彩男子		中国 唐時代・7~8世紀	
66	褐釉男子		中国 唐時代・7~8世紀	
67	三彩馬		中国 唐時代・7~8世紀	
68	三彩馬		中国 唐時代・7~8世紀	
69	加彩胡人(施釉か)		中国 唐時代・7~8世紀	
70	三彩馬		中国 唐時代・7~8世紀	東京国立博物館所蔵 横河民輔氏旧蔵
71	加彩胡人		中国 唐時代・7~8世紀	
72	加彩胡人		中国 唐時代・7~8世紀	
73	加彩風帽胡服男子		中国 唐時代・7~8世紀	
74	加彩風帽胡服男子		中国 唐時代・7~8世紀	
75	加彩胡人		中国 唐時代・7~8世紀	
76	加彩胡人		中国 唐時代・7~8世紀	
77	加彩駱駝		中国 唐時代・7~8世紀	
78	加彩男子		中国 唐時代・7~8世紀	

作品リスト

No.	指定・作品名	作者等	時代	所蔵・備考
79	加彩男子		中国 唐時代・7～8世紀	
80	加彩男子		中国 唐時代・7～8世紀	
81	加彩文官		中国 唐時代・7～8世紀	
82	加彩文官		中国 唐時代・7～8世紀	
83	加彩男子		中国 唐時代・7～8世紀	
84	胡服男子		中国 唐時代・7～8世紀	
85	加彩侏儒		中国 唐時代・7～8世紀	
86	加彩套衣男子		中国 唐時代・7～8世紀	
87	加彩武人		中国 唐時代・7～8世紀	
88	黄釉加彩武人		中国 唐時代・7世紀	東京国立博物館所蔵 中野欽九郎氏旧蔵
89	毘沙門天像(十二天像のうち)(パネル)		室町時代・15世紀	
第5章 清朝の染織				
90	蒙古人の鎧		中国 清時代・19世紀	
91	鎧冑		中国 清時代・19世紀	
92	蒙古の冑		中国 清時代・19世紀	
93	蒙古文の書	蘇珠克図巴図爾(1889～1926)筆	1925年	
94	蟒袍		中国 清時代・19世紀	
95	蟒袍		中国 清時代・19世紀	
96	蟒袍		中国 清時代・19世紀	
第六章 喜八郎と喜七郎、それぞれとタイの美術				
97	仏陀像		タイ ラタナコーシン時代・19世紀	
98	宝冠仏立像		タイ ラタナコーシン時代・19世紀	
99	仏陀立像		タイ ラタナコーシン時代・19世紀	
100	銀製二エロ手箱		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	ラーマ7世寄贈
101	銀製鍍金二エロ手箱		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	ロブリ殿下寄贈
102	銀製二エロ手箱		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	ダニ・ニヴァット殿下寄贈
103	銀製二エロ花盛器		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	スウッター・スイニナート妃寄贈
104	銀製二エロ菓子盛器		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	ロブリ殿下寄贈
105	銀製鍍金二エロ水鉢		タイ ラタナコーシン時代・20世紀	トライドス殿下寄贈
106	釈迦如来坐像(パネル)		タイ ラタナコーシン時代・19～20世紀	現品：日泰寺所蔵
107	南汎集	大倉喜七郎(1882～1963)編	昭和2年(1927)	

出品数：107件

令和4年度(4)

企画展 大倉コレクションー信仰の美ー

会 期：令和4年11月1日(火)～令和5年1月9日(月・祝)
 ※年末年始12月29日(木)～令和5年1月1日(日)休館
 ※令和5年1月2日(月・祝)開館

開館時間：10時～17時

開催日数：58日間

入場者数：8,177人(1日平均約141.0人)

観 覧 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
 中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)
 (デザイン：高見征毅〔浅野製版所〕)

配付資料：「作品リスト」

担 当：佐々木智子(学芸員)、四宮美帆子(副主任学芸員)、
 高橋裕次(副館長兼学芸部長)

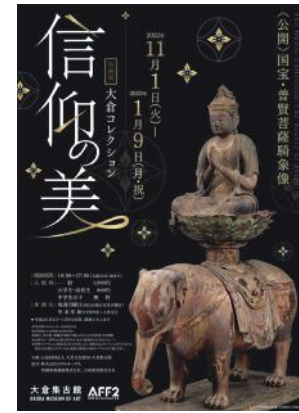
展示趣旨：

大倉集古館を設立した実業家・大倉喜八郎(1837-1928)は、明治初年の廃仏棄釈によって仏像や仏画が寺社から流出し廃棄されてゆく状況を憂いて、それらの文化財の保護に尽力しました。喜八郎が蒐集した仏教美術作品には、釈迦信仰をはじめ、密教や浄土教信仰が生み出した美しいほとけなど、中世から近世にいたる優品が数多くみとめられます。

本展ではこれらの日本仏教美術コレクションに焦点をあて、収蔵品を中心に信仰の歴史をたどり、そこに託された人々の祈りと美のかたちをご紹介します。当館を代表する名品、国宝〈普賢菩薩騎象像〉を併せて公開いたしました。

展覧会構成：

1. 古代仏教と古経の世界
2. 密教ー修法と荘厳ー
3. 釈迦如来と弟子たち
4. 浄土教の美術ー極楽浄土への憧憬ー
5. 法華経と国宝〈普賢菩薩騎象像〉ー美しきほとけへの祈りー
6. 神仏習合と民間信仰
7. 仏教美術の継承ー極彩色を愛でるー



チラシ





展示風景

関連イベント

①特別講演会「普賢菩薩の絵画－美しきほとけへの祈り－」

日時：令和4年12月17日(土)14時～15時30分
 講師：増記隆介(東京大学准教授)
 場所：大倉集古館 地下1階ホール
 料金：無料(要入館券)
 参加人数：34人



① 特別講演会

②みどころトーク(スライドレクチャー)

「国宝〈普賢菩薩騎象像〉を中心に」
 日時：令和4年12月23日(金)14時～14時45分
 講師：西木政統(東京国立博物館主任研究員)
 ※佐々木智子より変更
 場所：大倉集古館 地下1階ホール
 料金：無料(要入館券)
 参加人数：37人



② みどころトーク

③ギャラリー・トーク

日時：令和4年11月18日(金)、12月9日(金)
 各14時～15時
 担当：四宮美帆子(副主任学芸員) ※佐々木智子より変更
 場所：大倉集古館 展示室
 料金：無料(要入館券)
 参加人数：35人(11/18)、50人(12/9)



④ コンサート

④大谷祥子&豊剛秋デュオコンサート～仏教音楽と邦楽のタペ～

日時：令和4年11月29日(火)19時開演
 出演：大谷祥子(箏曲家)・中野智美(箏)
 豊剛秋(重要無形文化財(雅楽)保持者)(笙)
 場所：大倉集古館 2階展示室
 料金：4,000円
 参加人数：71人
 協力：ジャポニスム振興会

⑤犬飼翠雪氏(真生流)の生け花展示

日時：令和5年1月2日(月・祝)～1月9日(月・祝)
 場所：大倉集古館 入口・1階展示室
 協力：真生流



⑤ 生け花展示



作品リスト

No	指定	作品名	作者等	時代	所蔵・備考
【1階】1. 古代仏教と古経の世界					
1		百萬塔陀羅尼		奈良時代・8世紀	特種東海製紙株式会社所蔵
2		古経貼交屏風(右隻)		奈良～鎌倉時代・8～13世紀	特種東海製紙株式会社所蔵
3	重要美術品	聖徳太子勝鬘経講讃図		鎌倉～南北朝時代・14世紀	
4		藤原鎌足像		室町時代・16世紀	
5		法蓮上人坐像		鎌倉～南北朝時代・14世紀	
【1階】2. 密教～修法と荘厳～					
6		護摩壇図		鎌倉時代・14世紀	前後期で巻替
7		金胎両界大日如来像		室町時代・15世紀	
8	重要美術品	虚空蔵菩薩像		南北朝時代・14世紀	前期展示(～12/4)
9		虚空蔵菩薩像		鎌倉時代・14世紀	後期展示(12/6～)
11	重要美術品	愛染明王像		鎌倉時代・14世紀	前期展示(～12/4)
10	重要文化財	一字金輪像		鎌倉時代・13世紀	後期展示(12/6～)
12		不動明王二童子像		鎌倉時代・14世紀	
13		不動明王坐像		室町～江戸時代・16～17世紀	
14		制吒迦童子立像		江戸時代・18～19世紀	
15	重要美術品	孔雀経音義		平安時代・久安4年(1160)	特種東海製紙株式会社所蔵
【1階】3. 釈迦如来と弟子たち					
16		釈迦如来坐像	安田鞞彦(1884～1978)筆	室町～江戸時代・16～17世紀	
17	重要美術品	大般若波羅蜜多経卷第一百七十七(魚養経)		奈良時代・8世紀	特種東海製紙株式会社所蔵
18		釈迦十六善神像		鎌倉～南北朝時代・14世紀	
19		釈迦三尊十大弟子像		南北朝～室町時代・14～15世紀	
20		絵葉書「優波離尊者立像」 (興福寺蔵釈迦如来十大弟子像之一) (パネル)		原品:奈良時代・天平6年(734)	
【2階】4. 浄土教の美術～極楽浄土への憧憬～					
21		当麻曼荼羅		鎌倉～南北朝時代・14世紀	
22		阿弥陀来迎図		鎌倉時代・14世紀	
23		阿弥陀三尊来迎図		鎌倉～南北朝時代・14世紀	
24		阿弥陀三尊来迎図		鎌倉～室町時代・14世紀	
25		空也上人絵伝		室町時代・16世紀	
26		鉦鼓		江戸時代・17～18世紀力	
27		鱗口		寄進年:桃山桃山時代・慶長15年(1600)	
28		毘沙門天立像	北川喜内(生没年不詳)作	江戸時代・18世紀	
29		融通念仏縁起絵巻		室町時代・15世紀	前後期で巻替
30	重要美術品	探幽縮図(道釈人物花鳥図画帖)	狩野探幽(1602～74)筆	江戸時代・17世紀	
31	重要美術品	探幽縮図(三十三観音及び 山水人物花鳥図画帖)	狩野探幽(1602～74)筆	江戸時代・17世紀	

No	指定	作品名	作者等	時代
【2階】5. 法華経と国宝(普賢菩薩騎象像)～美しきほとけへの祈り～				
32	国宝	普賢菩薩騎象像		平安時代・12世紀
33		普賢十羅刹女像		鎌倉時代・14世紀
34		平家納経 妙法蓮華経 普賢菩薩勸発品第二十八(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
35		平家納経 妙法蓮華経 法師功德品第十九(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
36		平家納経 妙法蓮華経 提婆達多品第十二(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
37		平家納経 妙法蓮華経 妙莊嚴王本事品第二十七(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
38		平家納経 妙法蓮華経 從地涌出品第十五(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
39		平家納経 観普賢経(模本)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
40		平家納経 金銀荘雲龍文銅製経箱(模造)	田中親美(1875～1975)作	大正～昭和時代・20世紀
【2階】6. 神仏習合と民間信仰				
41		春日鹿曼荼羅図		室町時代・15世紀
42		四社明神像		安土桃山時代・16世紀
43		懸仏 薬師如来坐像		寄進年:室町時代・応永4年(1397)
44		懸仏 千手観音菩薩坐像		寄進年:室町時代・永正5年(1508)
45		千手観音菩薩立像(板東3番)		江戸時代・17～19世紀
46		准胝観音菩薩立像(秩父5番)		江戸時代・17～19世紀
47		聖観音菩薩立像(秩父21番)		江戸時代・17～19世紀
48		馬頭観音菩薩立像(秩父28番)		江戸時代・17～19世紀
49		如意輪観音菩薩坐像(秩父30番)		江戸時代・17～19世紀
50		仁王立像		江戸時代・18～19世紀
51		不動明王坐像	円空(1632～95)作	江戸時代・17世紀
52		雑画帖(不動尊に悪童図)	英一蝶(1652～1724)筆	江戸時代・17世紀
【2階】7. 仏教美術の継承—極彩色を愛でる—				
53		阿弥陀三尊来迎図	神田宗庭要信(1825～74)筆	江戸時代・19世紀
54	重要美術品	仏頂尊勝陀羅尼神明仏陀降臨曼荼羅図	冷泉為恭(1823～64)筆	江戸時代・文久3年(1863)
55	重要美術品	山越阿弥陀図	冷泉為恭(1823～64)筆	江戸時代・文久3年(1863)
56		不動尊	下村観山(1873～1930)筆	大正14年(1925)

出品数：56 件

令和4年度(5)

企画展 “沁みる” 日本美術—美術に見る抒情感—

※中止

会 期：令和5年1月17日(火)～3月26日(日)

開館時間：10時～17時

開催日数：60日間(当初予定)

観 覧 料：一般 1,000 円、大学・高校生 800 円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1 階展示室、2 階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成
建設株式会社

担 当：田中知佐子(主任学芸員)

展示趣旨：

心に広がるしみじみとした感情を表す言葉“沁みる”をテーマに、季節や気候の変化に合わせて自然や生物の営みに見る情感を大切に表現してきた日本の絵画や工芸品を、館蔵品を中心にセレクトして展覧します。四季、雪月花、花鳥風月などの小テーマを設定し、それに因んだ作品から、日本美術において叙情感の表現がどのように展開してきたかを探ります。比較として中国や朝鮮の作品も一部展示いたします。

2. その他

受 賞

令和2年度

一般財団法人日本建築防災協会「第10回耐震改修優秀建築賞」受賞



令和3年度

一般社団法人日本建設業連合会「第62回BCS賞」受賞



3. 広報・普及活動

(1) 年間スケジュール制作

2021年度



2022年度



(2) ミュージアムグッズ制作

① レターセット「古今和歌集序」

② 絵はがき(5種制作)

「青磁染付宝尽文大皿」

「韋駄天像」

「暖日」

「不動尊像に悪童図」

「ローマ展ポスター」



4. 資料特別利用

(1) 所蔵作品の貸出

年度	指定	作品名	作者	展覧会会場名	展覧会会期	展覧会名
		「探幽縮図」のうち「十王図」	狩野探幽	神奈川県立博物館	2021年7月17日(土)～8月29日(日)	特別展 重要文化財修理完成記念 十王図
令和3年度(2021年度)		祇園閣模型	伊東忠太	京都市京セラ美術館	2021年9月25日(土)～12月26日(日)	京都市京セラ美術館 開館1周年記念展 モダン建築の京都
		蔵春閣・大倉集古館アルバム	大成建設編			
		山水図・宮女奏楽図	鈴木其一	根津美術館	2021年11月3日(水・祝)～12月19日(日)	重要文化財指定記念特別展 鈴木其一・夏秋溪流図屏風
		七夕	鐺木清方	東京国立近代美術館	2022年3月18日(木)～5月8日(日)	没後50年 鐺木清方展
				京都国立近代美術館	2022年5月27日(金)～7月10日(日)	
	重要文化財	洞窟の頼朝	前田青邨	岐阜県美術館	2022年9月30日(金)～11月13日(日)	開館40周年記念 前田青邨展
令和4年度(2022年度)		木瓜	山口蓬春	山口蓬春記念館	2023年2月4日(土)～4月2日(日)	山口蓬春・新興大和絵会の時代展
		鯉魚	速水御舟	茨城県近代美術館	2023年2月21日(火)～3月26日(日)	速水御舟展
	重要文化財	洞窟の頼朝	前田青邨	東京国立近代美術館	2023年3月17日(金)～5月14日(日)	東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密
	重要美術品	蘭竹図屏風	椿椿山	板橋区立美術館	2023年3月18日(土)～4月16日(日)	椿椿山展

(2) 画像データの貸出

令和3年度：50件

令和4年度：22件

5. 所蔵品の保存・修理

年度	指定	作品名	作者	保存・修理内容
令和3年度 (2021年度)		波に千鳥図屏風		浮き、剥落、解体修理
		打乱箱		クリーニング、剥落止め
		太刀 銘月山貞一造剣 兼次謹造之	月山貞一	研ぎ、白鞘新調、鍔新調
		剣 銘明治三十九年十月吉日兼先十二代孫兼次謹造之 ／祝大倉君高齢	日置兼次	研ぎ、鍔新調
		刀 銘以本溪湖高純鉄果(花押)／皇紀二千六百参季十月吉日	柴田果	研ぎ、白鞘新調
		簿外 太刀 正次	桜井正次	研ぎ、鍔新調
		簿外 刀 正次	桜井正次	研ぎ、鍔新調
		茶地朝顔模様長絹		縫いほつれ、穴、折り皺や擦れ、後補による模様ずれ
		紅地梅格子模様唐織		縫いほつれ、穴、折り皺や擦れ、後補による模様ずれ
		狂言面 福の神		浮き、剥落止め
	狂言面 鼻引		浮き、剥落止め	
	狂言面 祖父		浮き、剥落止め	
	狂言面 毘沙門		後世の彩色除去	
令和4年度 (2022年度)		波に千鳥図屏風		(継続)
	重要文化財	石清水八幡曼荼羅図		解体修理
		金銀箔散屏風	田中親美	カビ取り、裏面唐紙剥離修理
		古歌巻	飯尾常房	折れ、浮き、剥落、解体修理
		松下人物螺鈿卓		クリーニング、剥離修理
		秋草蒔絵文台 富田幸七作の保存箱修理		破損個所の補強等
		脇差 銘 氷心子秀世	氷心子秀世	研ぎ、白鞘・木身作成
		太刀 銘 来国俊	来国俊	研ぎ、白鞘・木身作成
		紅白段業平菱菊模様唐織		縫い目ほつれ直し
		紫地葡萄蔦模様長絹		縫い目ほつれ直し

Ⅲ. 資料

1. 入場者数

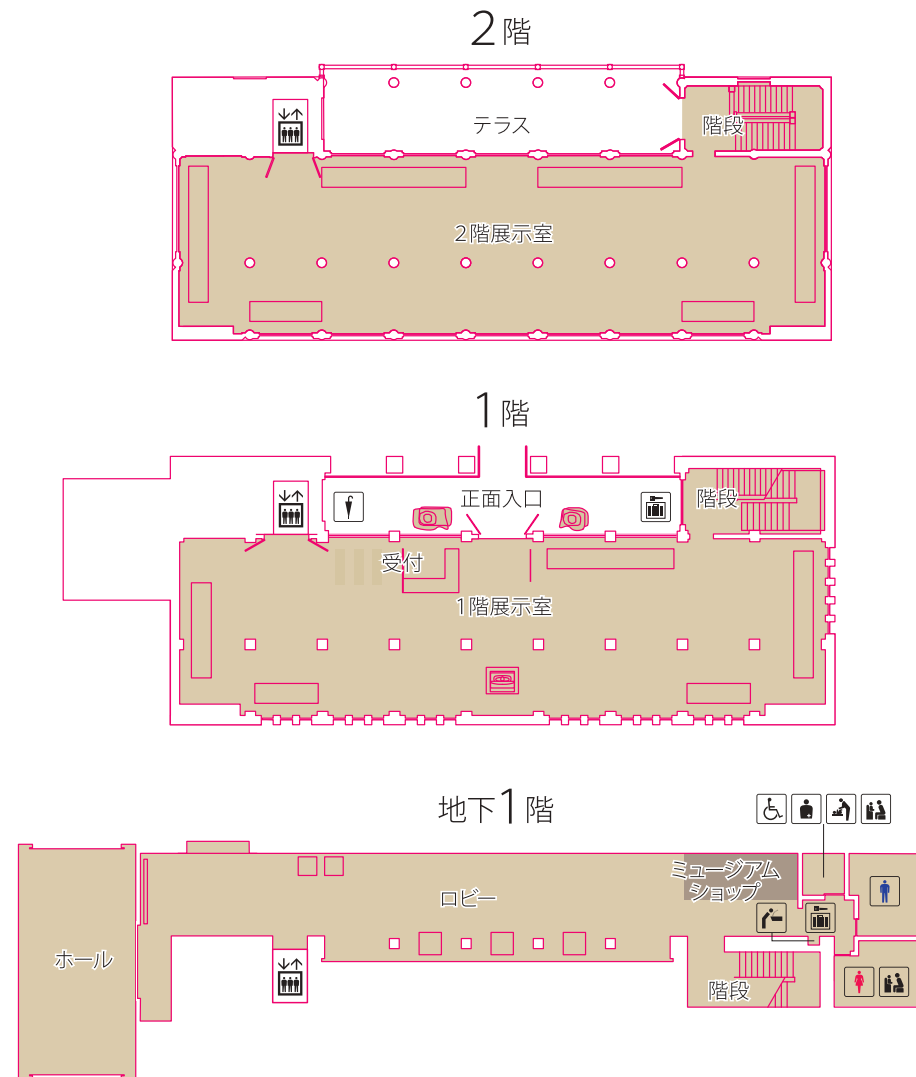
年度	展覧会会期	展覧会名	開催日数	入場者数	一日平均	備考
令和3年度 (2021年度)	4月6日(火)～6月6日(日) ※4/27～5/31は臨時休館	企画展 彩られた紙 －料紙装飾の世界－	26日	2,207人	84.9人	特別イベント 2日含む
	6月15日(火)～8月15日(日)	特別展 FUSION～間島秀徳 Kinesis／水の宇宙&大倉コレクション～	55日	2,858人	52.0人	内覧会 1日含む
	8月24日(火)～10月24日(日)	企画展 能 Noh～秋色モード～	54日	2,945人	54.5人	
	11月2日(火)～ 2022年1月10日(月祝)	特別展 生誕120年記念 筆牛人 昭和水墨画壇の鬼才	58日	14,528人	250.5人	
	2022年1月18日(火)～3月27日(日)	企画展 季節をめぐり、 自然と遊ぶ～花鳥・山水の世界～	62日	4,817人	77.7人	特別イベント 2日含む
	計		255日	27,355人	107.3人	

年度	展覧会会期	展覧会名	開催日数	入場者数	一日平均	備考
令和4年度 (2022年度)	4月5日(火)～5月29日(日)	企画展 人のすがた、人の思い －収蔵品にみる人々の物語－	49日	5,377人	109.7人	特別イベント 1日含む
	6月7日(火)～7月31日(日)	特別展 芭蕉布 －人間国宝・平良敏子と喜如嘉の手仕事－	49日	13,268人	270.8人	内覧会 1日含む
	8月16日(火)～10月23日(日)	企画展 合縁奇縁 －大倉集古館の多彩な工芸品－	61日	5,596人	91.7人	特別イベント 1日含む
	11月1日(火)～ 2023年1月9日(月・祝)	企画展 大倉コレクション-信仰の美	58日	8,177人	141.0人	
	2023年1月17日(火)～ 3月26日(日)	企画展 "沁みる"日本美術 －美術に見る叙情感－	－	－	－	中止
	計		217日	32,418人	149.4人	

2. 施設概要

施設名：大倉集古館
 所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3
 電話：03-5575-5711
 F A X：03-5575-5712
 ウェブサイトアドレス：https://www.shukokan.org/

延床面積：1948.13㎡
 主体構造：地上RC造・地下RC造
 階数：地上2階、地下1階
 1階 展示室：奥行 9,090mm、幅 32,724mm、
 天井高 4,545mm
 2階 展示室：奥行 9,090mm、幅 32,724mm、
 天井高 4,034mm
 地階 ロビー等：奥行 5,000mm、幅 10,886mm、
 天井高 3,400mm



3. 利用案内

■開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)
 ■休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)、展示替期間、
 年末年始
 ■入館料：一般：1,000円(特別展は1,300円)
 大学生・高校生 800円
 (特別展は1,000円) ※学生証を提示。
 中学生以下 無料
 ※同会期中のリピーターは200円引き
 (前回ご来館のチケット持参)
 ※20名様以上の団体は100円引き
 ※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方と同伴
 者1名は無料

■アクセス：

○東京メトロ南北線／六本木一丁目駅 中央改札口(泉ガーデン方面)より5分
 ○東京メトロ日比谷線／神谷町駅 4b出口より7分
 ○東京メトロ日比谷線／虎ノ門ヒルズ駅 A1 または A2 出口より8分
 ○東京メトロ銀座線・南北線／溜池山王駅 13番出口より10分
 ○東京メトロ銀座線／虎ノ門駅 3番出口より10分

■The Okura Tokyo とのセット鑑賞券

・ランチセット鑑賞券 5,500円
 ・茶菓セット鑑賞券 3,000円



■ミュージアムパスポート

入会日から一年間、何度でも展覧会をご覧いただける会員証を発行。
 会員の方には、展覧会やイベント等のご案内を郵送。
 年会費 5,500円(税込み)、入会日から1年間



ミュージアムパスポートカード



4. 役員名簿

令和 3 年度

役職	名前
理事長（代表理事）	村上 勝彦
理事	岩井 國立
理事	荻田 敏宏
理事	山内 隆司
理事	三澤 清利
理事	伊藤 隆男
理事	金井 克行
理事	福田 秀明
監事	朝倉 敏守
監事	澁谷 文敏
評議員	大倉 昭彦
評議員	平田 博資
評議員	安本 昌司
評議員	牟田 忠弘
評議員	高橋 智
評議員	池田 正己
評議員	大島 一宏
評議員	岩崎 民夫
評議員	清水 紘一郎
名誉館長	大倉 喜彦
特別顧問	大崎 馨夫

令和 4 年度

役職	名前
理事長（代表理事）	村上 勝彦
理事	岩井 國立
理事	荻田 敏宏
理事	山内 隆司
理事	三澤 清利
理事	伊藤 隆男
理事	金井 克行
理事	福田 秀明
理事	西岡 康宏
監事	朝倉 敏守
監事	澁谷 文敏
評議員	大倉 昭彦
評議員	平田 博資
評議員	安本 昌司
評議員	牟田 忠弘
評議員	高橋 智
評議員	大島 一宏
評議員	岩崎 民夫
評議員	大倉 美子
評議員	梅原 真次
名誉館長	大倉 喜彦
特別顧問	大崎 馨夫

(各年度末時点)